住宅改修が必要な理由書 (P1)

<基本情報>

利用者	被保険者番号	00000****	年齢	80	歳 生年月日		1942	年	2	月	20	日	性別		女
	—————— 被保険者	矢川 国子	 要介護認定]	要支援	要介護								
	氏名		(該当	(該当にO) 1 · 2 · 3 ·						•	4	•	5		
	住 所	国立市富士見台2-47-1													

. 76		改修箇所	改修内容			
よるもの)、(公費に	R3年 浴室		手すり取り付け(3本)			

-悪い記載例-

作成者	現地確認日	令和4 年 4 月 1 日	作成日	令和4 年 4 月 1 日					
	所属事業所	リフォーム〇〇							
	氏名	谷保 泉	連絡先	042-***-**					
	資格等	介護支援専門員 地域で 福祉住環境コーディネーター	包括支援センター職員 作業療法士 一検定試験2級LL その他()						

※ 作成者が担当のケアマネジャー(地域包括支援センター職員含む)以外の場合は、下記に担当ケアマネジャーから署名をいただいてください。

ジャー	所属事業所	△△ケアプランセンター					
	氏名	富士見	さくら	連絡先	042-00-000		

<総合的状況> 福祉用具の利用状況と住宅改修後の想定 貸与·購入品目 改修前 改修後 ●車いす(付属品含む) 利用者の身体状況 心不全、糖尿病、脳梗塞による左不全マヒ、認知症 ●特殊寝台(付属品含む) ●床ずれ防止用具 ●体位変換器 ●手すり ●スロープ 夫と二人暮らし 介護状況 ●歩行器 デイサービス利用中 ●歩行補助つえ ●認知症老人徘徊感知機器 П ●移動用リフト ●腰掛便座 ●特殊尿器 ●入浴補助用具 ●簡易浴槽 は七〇16により、 利用者等は日常生活 階段に手すりがなく2階への行き来が安全にできるようにしたい。 ●その他 トイレに手すりを付け、転倒や排泄の失敗を防ぎたい。 をどう変えたいか ・ご本人の身体機能、住宅や生活の状況、介護サービスの利用状況、日常生活動線に記載が不十分。 ・なぜ困っているのか、なぜ工事が必要かという点について記載がない。 →内容が不十分であるため、工事の必要性及び身体機能と改修内容の整合性等について確認することができません。

住宅改修が必要な理由書(P2)

-悪い記載例-

〈P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。>

活動	①改善をしようと している生活動作 ■	② ①の具体的な困難な状況(・・なので ・・で困っている)を記入してください ■		的・期待効果をチェックした上で、 -ることで ・・が改善できる)を記入してください	④ 改修項目(改修箇所)	
泄	□ トイレまでの移動 □ トイレ出入口の出入 (扉の開閉を含む) ■ 便器からの立ち座り(移乗を含む) ■ 衣服の着脱 □ 排泄時の姿勢保持 □ 後始末 □ その他() □ 浴室までの移動 □ 衣服の着脱 □ 浴室出入口の出入 (扉の開閉を含む) □ 浴室内での移動(立ち座りを含む) □ 洗い場での姿勢保持 (洗体・洗髪を含む) □ 洗い場での姿勢保持 (洗体・洗髪を含む) □ 浴槽の出入(立ち座りを含む) □ 浴槽のでの姿勢保持 □ その他()	・衣服の着脱にふらつくことがある。	 □ できなかったことをできるようにする ■ 転倒等の防止、安全の確保 ■ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や不安の軽減 □ その他() □ できなかったことをできるようにする □ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 □ その他() 	・手すりがつくことで転倒や失敗が防げる。	■ 手すりの取付け (階段 (トイレ (((((((((((((((((((
外出	□ 出入口までの屋内移動 □ 上がりかまちの昇降 □ 車いす等、装具の着脱 □ 履物の着脱 □ 出入口の出入 (扉の開閉を含む) □ 出入口から敷地外までの 屋外移動 □ その他()		□ できなかったことをできるようにする ■ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 □ その他()		□ 引き戸等への扉の取替え)
その他の活動			□ できなかったことをできる ようにする ■ 転倒等の防止、安全の確保 ■ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や 不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 □ その他()	・手すりがつくことで安全に昇降できる。	 (□ 滑り防止等のための床材の変更)